



2023年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月12日

上場会社名 株式会社ゴルフ・ドゥ
コード番号 3032 URL <https://www.golfdco.co.jp/>

上場取引所 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐久間 功

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 並木 健二

TEL 048- 851- 3111

定時株主総会開催予定日 2023年6月29日

配当支払開始予定日

2023年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	6,058	5.7	84	65.4	89	63.9	41	81.9
2022年3月期	5,731	8.8	244	5.3	248	8.8	227	64.0

(注) 包括利益 2023年3月期 64百万円 (73.6%) 2022年3月期 244百万円 (69.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	16.45	16.03	5.2	2.7	1.4
2022年3月期	90.92	89.10	36.1	7.7	4.3

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 百万円 2022年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	3,291	844	24.7	324.87
2022年3月期	3,362	789	22.7	304.12

(参考) 自己資本 2023年3月期 814百万円 2022年3月期 762百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	210	120	162	655
2022年3月期	51	123	0	724

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期		0.00		5.00	5.00	12	5.5	1.6
2023年3月期		0.00		10.00	10.00	25	60.8	3.0
2024年3月期(予想)		0.00		10.00	10.00		30.2	

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,800	12.2	140	65.3	130	45.0	83	101.3	33.11

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 有
 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.13'3.連結財務諸表及び主な注記(5)連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)、(会計上の見積りの変更)をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)
 期末自己株式数
 期中平均株式数

2023年3月期	2,605,642 株	2022年3月期	2,605,642 株
2023年3月期	99,200 株	2022年3月期	99,200 株
2023年3月期	2,506,442 株	2022年3月期	2,506,086 株

(参考)個別業績の概要

2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	4,910	6.6	81	57.2	120	46.4	74	63.7
2022年3月期	4,605	12.7	190	6.9	224	6.3	204	31.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	29.56	28.80
2022年3月期	81.53	79.89

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2023年3月期	3,032		753		23.9		288.77	
2022年3月期	3,051		689		21.7		264.21	

(参考) 自己資本 2023年3月期 723百万円 2022年3月期 662百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(会計上の見積りの変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. 補足情報	17
売上高前年対比等	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染法上の分類が5類へ引き下げられることを見据え、急ピッチで正常化への歩みを進めております。また、物価の高騰により個人消費は不安定な状況が続いており、今後も舵取りの難しい局面が予想されます。海外においては、日本に先んじてコロナ禍からの脱却が進むものの、日本とは対照的にインフレの抑制を目的とした利上げ策によって金利は高止まりが続き、金融不安や途上国における債務問題が生じております。

リユース市場においては、中心となる商材が循環型社会やサステナビリティといった時流に即していることに加え、物価の上昇に伴った価格の優位性や円安を背景とした海外輸出の増加などにより、市場の拡大傾向が続いております。また、高級ブランドや製造小売業の参入が目立ってきており、アップサイクルなど付加価値を高めて差別化や顧客満足度の向上を図っているものも少なくありません。

ゴルフ用品市場においては、コロナ禍において火が付いたゴルフ人気により、市場はコロナ禍前と比べて高止まり傾向が続いております。しかしながら、拡大・成長のスピードは鈍化しており、今後は他レジャー市場との競争が目を追うごとに増してくるものと予想されます。また、新品クラブに関しては、NEWモデルに勢いが無く、値下げ品の価格上昇も手伝って、総じて厳しい状況が続きました。株式会社矢野経済研究所「Y P S ゴルフデータ」によりますと、新品クラブ及びボールなど用品類販売の年間合計（2022年4月～2023年3月）実績前年対比は、ボール、シューズが数量、金額ともに、ウッド、パター、グローブが金額の前年実績を上回っており、平均実売価が全てのカテゴリーで上回っていることから、単価上昇に支えられていることが窺えます。

ゴルフ場及び練習場においては、経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によりますと、2023年1月及び2月の利用者数前年同月比*は、ゴルフ場が1月95.1%、2月105.0%、練習場が1月92.8%、2月95.8%となりました。2022年度のゴルフ場は前半を中心に半数以上の月が前年実績を上回り、年度合計も前年実績を上回りましたが、練習場は前年実績を上回った月が10月のみで、年度合計は前年実績を下回り、対照的な結果となりました。他レジャーの動向が影響しているものと推測されます。*3月分は公表日の都合で記載していません。

このような経営環境のなか、当社グループは前連結会計年度に続いて売上高が過去最高を更新した一方で、営業利益は「ゴルフドゥ！オンラインショップ」関連の減価償却費の前倒しや、「ゴルフドゥ！」直営店の粗利益率低下により、前連結会計年度を下回りました。しかしながら、減価償却費の前倒しは成長スピードを加速させるためのものであり、粗利益率低下は想定以上の買取りから生まれた余剰在庫の早期処分という粗利益率の回復を図るものであり、いずれも前向きな措置となります。なお、「ゴルフドゥ！オンラインショップ」は、「EC戦略の強化」として「ゴルフドゥ！」にしか出来ないことの深掘りを念頭に置き、新システムへの移行に向けた抜本的な改修を粛々と進めております。4月にオープンした「ゴルフドゥ！NEXT」は、シミュレーションゴルフの活用方法に課題は残すものの、物販がけん引し業績は想定を上回って推移いたしました。利益圧迫の主な要因には光熱費と採用費の増加があげられ、光熱費はエネルギー価格の高騰で電力供給先の選択肢が狭まり、価格の見直し余地がありませんでした。採用費は「ゴルフドゥ！」直営店の人員不足解消に加え、将来的な業容拡大を見据えた積極的な採用活動によるもので、2023年度の新卒採用数は12名と4年ぶりの二桁となりました。

直営事業においては、「ゴルフドゥ！」直営店の前年実績対比で購入単価上昇、購入客数減少が一年を通して続きました。また、同店の従業員に新型コロナウイルスの感染者と濃厚接触者が夏場と冬場に相次ぎ、人員調整に苦心する状況が続いた一方で、円安を背景とした海外業者の増加や「ゴルフドゥ！オンラインショップ」経由販売が業績を後押しいたしました。なお、当連結会計年度の同店売上高前年増減率は、全店ベース3.8%増、既存店ベース0.8%増となりました。

フランチャイズ事業においては、「ゴルフドゥ！」フランチャイズ店も同直営店と同様に購入単価上昇、購入客数減少の傾向が一年を通して続きました。なお、店舗を取り巻く外部環境は同直営店と大差ありませんが、在庫量の差が店頭販売の勢いの差にも表れている感がある一方で、「ゴルフドゥ！オンラインショップ」経由販売は増加傾向にあります。なお、当連結会計年度の同店売上高前年増減率は、全店ベース0.1%増、既存店ベース3.7%減となりました。

当連結会計年度における「ゴルフドゥ！」のオープン新規が4店舗、移転が1店舗であり、2023年3月31日現在の「ゴルフドゥ！」は、直営24店舗、フランチャイズ53店舗で合計77店舗、チェーン合計の売上高前年増減率は、全店ベース1.8%増、既存店ベース1.7%減となりました。

営業販売事業においては、新型コロナウイルス感染症のパンデミックに起因する米国輸入品の欠品や納期遅れに代わり、米国のインフレに伴うコスト上昇や円安によって輸入商品の価格競争力が低下したため、環境の厳しさに大きな変化はありませんでした。国内ECモールに出店する「GOLF J-WINGS」は、一年を通して在庫状況が不安定で、当連結会計年度の同店売上高、営業利益はともに前年実績を下回りました。

アパレル事業においては、当連結会計年度の売上高は前年実績を上回りましたが、営業利益は僅かに前年実績を下回りました。新型コロナウイルスの感染状況が敏感に客数に影響し、11月と12月の落ち込みが最後まで響きました。しかしながら、感染症流行など特殊なことが無ければ、安定した黒字運営ができる体制は整いました。

以上の結果、当連結会計年度の経営成績は売上高60億58百万円（前連結会計年度比5.7%増）、営業利益84百万円（同65.4%減）、経常利益89百万円（同63.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益41百万円（同81.9%減）となりました。

当連結会計年度におけるセグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

（直営事業）

当連結会計年度における直営事業の売上高は42億72百万円（前連結会計年度売上高は40億99百万円）、セグメント利益は2億82百万円（前連結会計年度セグメント利益は3億79百万円）となりました。

（フランチャイズ事業）

当連結会計年度におけるフランチャイズ事業の売上高は6億22百万円（前連結会計年度売上高は5億10百万円）、セグメント利益は1億10百万円（前連結会計年度セグメント利益は1億47百万円）となりました。

（営業販売事業）

当連結会計年度における営業販売事業の売上高は12億25百万円（前連結会計年度売上高は11億48百万円）、セグメント損失は10百万円（前連結会計年度セグメント利益は37百万円）となりました。

（アパレル事業）

当連結会計年度におけるアパレル事業の売上高は52百万円（前連結会計年度売上高は49百万円）、セグメント利益は2百万円（前連結会計年度セグメント利益は2百万円）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ71百万円の減少となり、32億91百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1億1百万円の減少となり、25億1百万円となりました。これは主に現金及び預金が69百万円、売掛金が1億60百万円減少、商品が1億73百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ30百万円の増加となり、7億89百万円となりました。これは主に有形固定資産が74百万円増加、無形固定資産が28百万円減少したことによるものです。

（負債）

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べ1億25百万円の減少となり、24億46百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億92百万円の減少となり、15億79百万円となりました。これは主に買掛金が1億1百万円、短期借入金が2億円減少、未払法人税等が69百万円増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ67百万円の増加となり、8億67百万円となりました。これは主に社債が20百万円減少、長期借入金が53百万円増加したことによるものです。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ54百万円の増加となり、8億44百万円となりました。これは主に利益剰余金が28百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は24.7%（前連結会計年度末は22.7%）となりました。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による収入、投資活動による支出及び財務活動による支出の結果、6億55百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益、減価償却費、売上債権の減少、棚卸資産の増加、仕入債務の減少等により、2億10百万円の収入となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出、無形固定資産の取得による支出等により、1億20百万円の支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増減額、長期借入れによる収入、長期借入金の返済による支出等により、1億62百万円の支出となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期
自己資本比率 (%)	12.7	14.2	16.2	22.7	24.7
時価ベースの 自己資本比率 (%)	30.5	25.3	34.6	28.3	29.9
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率 (年) *	9.2	115.0	2.6	—	6.6
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍) *	18.6	0.9	35.8	—	17.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注2) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注3) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

* 2022年3月期は、有利子負債はありますがキャッシュ・フロー計算書の営業キャッシュ・フローがマイナスのため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症のリスクが下火となり、正常化に向けた経済活動は加速が見込まれるものの、一方では資源、為替、金融、地政学などのリスクによるインフレが、景気回復の歩みに水を差す可能性も捨て切れない状況が予想されます。

リユース市場においては、世界的な循環社会や環境保護への関心は一層高まり、リユースへのニーズは底堅く推移し、市場は成長が続くものと推測されます。なお、SDGsを意識した取り組みが広がるにつれ、リユース市場への参入が一層増加し、今後は今までにない相手との競争も増えてくるものと予想されます。

ゴルフ用品市場においては、コロナ禍におけるゴルフ人気を背景とした拡大・成長のスピードは鈍化傾向にあり、今後は他レジャー市場との競争が本格化することで、本来の実力が問われてくるものと思われま

す。当社におきましては、「中期経営計画 Challenge2026」の中間年度にあたり、目標として掲げる2026年3月期における売上高100億円、株式時価総額100億円、「ゴルフドゥ！」100店舗の達成に向けて更に加速してまいります。その中でも「EC戦略の強化」として、2023年2月13日の「『ゴルフドゥ！オンラインショップ』リニューアルに関するお知らせ」及び5月12日の「続報『ゴルフドゥ！オンラインショップ』リニューアルに関するお知らせ（楽天市場出店）」でお知らせいたしましたとおり (<https://www.golfdo.co.jp>)、「ゴルフドゥ！オンラインショップ」のリニューアルを2023年秋に実施し、実店舗との2本の柱を早期に形成してまいります。また、新業態店舗である「ゴルフドゥ！NEXT」の2号店を出店し、ネットではできない実店舗の可能性を最大限に引き出して、高収益店舗の確立を目指してまいります。さらには、企業規模の拡大と企業価値の最大化を図るため、人材育成戦略としてキャリアパスプランや人事評価制度などの抜本的な見直しを行い、収益構造の改革にもつなげてまいります。

以上の結果、翌連結会計年度（2024年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高6,800百万円（前年同期比12.2%増）、営業利益140百万円（前年同期比65.3%増）、経常利益130百万円（前年同期比45.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益83百万円（前年同期比101.3%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（I F R S）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	724,617	655,352
売掛金	421,932	261,413
商品	1,350,776	1,524,041
短期貸付金	9,561	5,948
未収還付法人税等	32,095	374
その他	65,276	55,179
貸倒引当金	△1,360	△497
流動資産合計	2,602,899	2,501,812
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	489,535	537,564
減価償却累計額及び減損損失累計額	△303,218	△309,316
建物及び構築物(純額)	186,316	228,247
工具、器具及び備品	339,943	366,934
減価償却累計額及び減損損失累計額	△316,958	△333,162
工具、器具及び備品(純額)	22,984	33,771
建設仮勘定	6,956	5,746
その他	—	23,252
有形固定資産合計	216,257	291,018
無形固定資産		
ソフトウェア	132,243	61,165
ソフトウェア仮勘定	53,946	101,972
のれん	22,694	15,728
その他	923	2,590
無形固定資産合計	209,808	181,457
投資その他の資産		
投資有価証券	13,510	19,872
長期貸付金	57,757	33,441
敷金及び保証金	179,920	175,269
繰延税金資産	40,258	55,717
その他	43,875	34,969
貸倒引当金	△2,595	△2,595
投資その他の資産合計	332,725	316,673
固定資産合計	758,792	789,149
繰延資産		
社債発行費	652	240
繰延資産合計	652	240
資産合計	3,362,344	3,291,202

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	519,379	417,652
短期借入金	800,560	600,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	179,024	196,659
未払法人税等	735	69,799
賞与引当金	39,699	29,892
ポイント引当金	33,313	35,597
株主優待引当金	10,857	13,460
資産除去債務	2,800	—
その他	165,842	196,384
流動負債合計	1,772,212	1,579,446
固定負債		
社債	20,000	—
長期借入金	509,271	562,654
退職給付に係る負債	145,911	163,137
資産除去債務	80,379	87,175
その他	44,800	54,534
固定負債合計	800,362	867,501
負債合計	2,572,574	2,446,947
純資産の部		
株主資本		
資本金	515,838	515,838
資本剰余金	169,240	169,240
利益剰余金	124,171	152,879
自己株式	△98,208	△98,208
株主資本合計	711,042	739,750
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,741	4,619
為替換算調整勘定	52,957	69,907
その他の包括利益累計額合計	51,215	74,526
新株予約権	27,511	29,977
純資産合計	789,769	844,254
負債純資産合計	3,362,344	3,291,202

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	5,731,039	6,058,108
売上原価	3,520,364	3,815,814
売上総利益	2,210,674	2,242,293
販売費及び一般管理費	1,966,191	2,157,613
営業利益	244,482	84,680
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,744	2,328
受取手数料	4,976	5,888
為替差益	1,268	1,463
助成金収入	4,421	4,814
その他	4,638	3,725
営業外収益合計	18,049	18,219
営業外費用		
支払利息	13,051	12,358
その他	967	881
営業外費用合計	14,019	13,239
経常利益	248,513	89,660
特別利益		
債務免除益	4,495	—
特別利益合計	4,495	—
特別損失		
固定資産除却損	4,170	1,838
減損損失	13,979	—
店舗閉鎖損失	1,200	—
特別損失合計	19,349	1,838
税金等調整前当期純利益	233,658	87,822
法人税、住民税及び事業税	7,828	61,686
法人税等調整額	△2,029	△15,103
法人税等合計	5,798	46,582
当期純利益	227,860	41,239
親会社株主に帰属する当期純利益	227,860	41,239

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	227,860	41,239
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△403	6,361
為替換算調整勘定	16,680	16,950
その他の包括利益合計	16,277	23,311
包括利益	244,137	64,551
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	244,137	64,551
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	506,120	159,523	△103,688	△98,208	463,747
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	9,717	9,717			19,435
親会社株主に帰属する当期純利益			227,860		227,860
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	9,717	9,717	227,860	—	247,295
当期末残高	515,838	169,240	124,171	△98,208	711,042

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	△1,338	36,276	34,938	19,516	518,201
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)					19,435
親会社株主に帰属する当期純利益					227,860
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△403	16,680	16,277	7,995	24,272
当期変動額合計	△403	16,680	16,277	7,995	271,567
当期末残高	△1,741	52,957	51,215	27,511	789,769

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	515,838	169,240	124,171	△98,208	711,042
当期変動額					
剰余金の配当			△12,532		△12,532
親会社株主に帰属する当期純利益			41,239		41,239
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	28,707	—	28,707
当期末残高	515,838	169,240	152,879	△98,208	739,750

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	△1,741	52,957	51,215	27,511	789,769
当期変動額					
剰余金の配当					△12,532
親会社株主に帰属する当期純利益					41,239
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	6,361	16,950	23,311	2,466	25,777
当期変動額合計	6,361	16,950	23,311	2,466	54,484
当期末残高	4,619	69,907	74,526	29,977	844,254

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	233,658	87,822
減価償却費	74,730	144,533
のれん償却額	6,966	6,966
長期前払費用償却額	1,730	1,451
株式報酬費用	26,995	2,466
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	107	△862
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,190	△10,162
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△5,687	2,283
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	2,442	2,603
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,630	17,225
受取利息及び受取配当金	△2,744	△2,328
支払利息	13,051	12,358
減損損失	13,979	—
固定資産除却損	4,170	1,838
債務免除益	△4,495	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△28,855	176,900
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△322,909	△161,786
仕入債務の増減額 (△は減少)	117,718	△116,156
未払金の増減額 (△は減少)	8,264	337
未払費用の増減額 (△は減少)	2,522	△253
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△47,623	20,235
その他	△11,351	12,993
小計	75,111	198,464
利息及び配当金の受取額	2,744	2,328
利息の支払額	△12,522	△12,394
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△117,016	21,755
営業活動によるキャッシュ・フロー	△51,681	210,154
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,146	△94,255
無形固定資産の取得による支出	△125,730	△70,899
貸付金の回収による収入	10,667	27,929
敷金及び保証金の回収による収入	274	4,918
敷金及び保証金の差入による支出	△7,390	△175
建設協力金の回収による収入	12,069	12,315
投資活動によるキャッシュ・フロー	△123,256	△120,166
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△573	△200,620
長期借入れによる収入	200,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△179,571	△228,982
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
配当金の支払額	—	△12,443
その他	66	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△78	△162,045
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,391	2,793
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△170,625	△69,264
現金及び現金同等物の期首残高	895,242	724,617
現金及び現金同等物の期末残高	724,617	655,352

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、当連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社は、当連結会計年度において、ECサイト「ゴルフドゥ！オンラインショップ」のシステム入替を決定いたしました。これに伴い除却見込みとなる当社の保有のECサイトに関連するソフトウェア資産の耐用年数を入替予定月までの期間に短縮し、将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当連結会計年度の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ52,533千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、本社に各事業本部を置き、取り扱う製品・サービスについて国内の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業本部を基礎とした販売・サービス別のセグメントから構成されており、「直営事業」、「フランチャイズ事業」、「営業販売事業」及び「アパレル事業」の4つを報告セグメントとしております。

「直営事業」は、中古ゴルフクラブの小売り及び買取りを中心とするゴルフリユースショップ「ゴルフドゥ！」の直営店舗運営並びにECサイト「ゴルフドゥ！オンラインショップ」及び「ゴルフウェアユーズド」の運営、「フランチャイズ事業」は、「ゴルフドゥ！」のフランチャイズチェーン本部運営、「営業販売事業」は、ゴルフ用品の卸売り及びECモールに出店する「GOLF J-WINGS」の運営、「アパレル事業」は、アパレルの小売りチェーン「シューラール」のフランチャイズ店舗運営を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上額 (注) 2
	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,099,344	499,003	1,083,089	49,601	5,731,039	—	5,731,039
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	11,340	65,368	—	76,708	△76,708	—
計	4,099,344	510,343	1,148,458	49,601	5,807,747	△76,708	5,731,039
セグメント利益	379,879	147,587	37,434	2,416	567,317	△322,834	244,482
セグメント資産	1,557,012	277,674	514,676	15,757	2,365,121	997,222	3,362,344
その他の項目							
減価償却費	29,641	31,552	3,624	58	64,877	9,852	74,730
のれんの償却額	6,966	—	—	—	6,966	—	6,966
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	46,082	87,245	283	176	133,788	6,969	140,757

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

(2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社資産であります。

(3) その他の項目の調整額は、各報告セグメントに配分されていない全社費用及び全社資産であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上額 (注) 2
	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,272,718	609,997	1,123,087	52,305	6,058,108	—	6,058,108
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	12,063	102,589	—	114,652	△114,652	—
計	4,272,718	622,060	1,225,677	52,305	6,172,761	△114,652	6,058,108
セグメント利益又は 損失 (△)	282,237	110,753	△10,132	2,379	385,238	△300,557	84,680
セグメント資産	1,768,302	207,099	425,639	16,551	2,417,594	873,607	3,291,202
その他の項目							
減価償却費	65,664	61,260	8,325	91	135,341	9,191	144,533
のれんの償却額	6,966	—	—	—	6,966	—	6,966
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	116,123	44,968	27,349	428	188,870	3,635	192,505

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

(2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社資産であります。

(3) その他の項目の調整額は、各報告セグメントに配分されていない全社費用及び全社資産であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の10%以上を占める相手先がないため、記載しておりません。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の10%以上を占める相手先がないため、記載しておりません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

(単位：千円)

	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計
減損損失	13,979	—	—	—	13,979

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

(単位：千円)

	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計
当期償却額	6,966	—	—	—	6,966
当期末残高	22,694	—	—	—	22,694

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計
当期償却額	6,966	—	—	—	6,966
当期末残高	15,728	—	—	—	15,728

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産	304.12円	324.87円
1株当たり当期純利益	90.92円	16.45円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	89.10円	16.03円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
(1) 1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	227,860	41,239
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	227,860	41,239
普通株式の期中平均株式数(株)	2,506,086	2,506,442
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数(株)	51,345	66,743
(うち新株予約権(株))	(51,345)	(66,743)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1 株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在 株式の概要	2021年5月20日開催の取締役会 決議による第7回新株予約権 新株予約権の数 1,705個 (普通株式 170,500株)	2021年5月20日開催の取締役会 決議による第7回新株予約権 新株予約権の数 1,705個 (普通株式 170,500株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

売上高前年対比等

当第4四半期及び当連結会計年度における「ゴルフドゥ！」店舗売上高前年対比は、以下のとおりであります。

	2023年1月	2023年2月	2023年3月	第4四半期合計 (1月～3月)	当期 (4月～3月)
ゴルフドゥ！ 全店	99.6%	97.8%	101.0%	99.5%	101.8%
ゴルフドゥ！ 既存店	96.0%	94.5%	97.8%	96.2%	98.3%
直営店 全店	101.5%	101.6%	104.6%	102.5%	103.8%
直営店 既存店	97.6%	98.3%	99.7%	98.5%	100.8%
F C店 全店	98.0%	94.8%	98.3%	97.1%	100.1%
F C店 既存店	94.6%	91.6%	96.4%	94.3%	96.3%

当第4四半期及び当連結会計年度における「ゴルフドゥ！オンラインショップ」売上高前年対比、アクセス数前年対比、会員数（合計）、会員数前年増加率は、以下のとおりであります。

	2023年1月	2023年2月	2023年3月	第4四半期合計 (1月～3月)	当期 (4月～3月)
売上高前年対比	134.4%	134.0%	126.2%	131.4%	135.0%
アクセス数前年対比	164.7%	159.0%	161.2%	161.8%	133.3%
会員数（合計）					393千人
会員数前年増加率					108.2%

(注) 会員数は「ゴルフドゥ！オンラインショップ」の会員数であり、「ゴルフドゥ！」店舗の会員数とは異なります。